

# 飛翔

For a bright future

海外人材特集

インドネシア   
人口 2 億 6 千万人

東南アジア最大の人材供給国  
その実態と実力

# インドネシア



## 急激な経済成長に隠された人材供給国としての可能性

インドネシアの全国民年齢別分布の中央値が 28 歳。人口ボーナスを享受する数少ない国の 1 つであることに間違いはない。世界第 4 位の人口 2 億 6 千万人を擁する東南アジア最大の人材供給国としての可能性を現地駐在員のレポートから報告する

### 2018 年 9 月 ジャカルタに駐在開始

らいふグループは、2018 年 3 月にインドネシアの Muhammadiyah (ムハマディア) との協力提携 MOU を締結。

この協力提携を最大限活用する為、ジャカルタに駐在員を同年 9 月より派遣しました。人材事業の営業開拓をスタートしています。



契約調印式はテレビでも放映された

#### 「Muhammadiyah (ムハマディア)」とは

インドネシアのイスラム教団体。会員数 6,000 万人。教育・医療に重点を置く団体で、傘下学校数は 10,000 校を超え、大学だけでも 184 大学を数える。傘下の医療機関の人材教育機関としての機能を持つことから、医師・看護師・助産師の育成には特に力を入れている。



インドネシア人スタッフと当社渡部（右）

### 『バンドン工科大学と提携』

「マサチューセッツ工科大学」と聞いて知らない人は少ないだろう。では「バンドン工科大学」と聞いて知っている方は・・・我々の周囲には残念ながらいない。“日本では誰も知らない”インドネシアの東大と言われるバンドン工科大学。大手企業に学生の青田刈りをされていない隠れた名門校として、にわかに注目を集めています。

バンドン工科大学は名実ともにインドネシア No.1 大学で、インドネシアで最も人気があり、最も入りづらい大学です。インドネシア国内の急激な近代化と人口増加により、隠れた IT 大国としての技術力を支えてきました。しかし、バンドン工科大学は今“危機”を迎えています。

### 名門大学の“危機”

昨年バンドン工科大学キャリアセンター長のバンバンさんは卒業生の就職先の調査を終えて驚いた。インドネシア No.1 大学と自他ともに認める大学の卒業生が、ほぼ国内企業に就職していたからだ。日進月歩の IT 業界において最新技術開発の現場はインドネシアにはない。

「海外への卒業生の送り出しは急務です。親日国であるインドネシアは日本企業への就業希望者は多数いるはずだ」とバンバンさん。事実、昨年テスト実施した日本企業向け就職説明会「Japan career days」では、7 社の企業しか出展していなかったにも関わらず、予想を超える 1,400 名の学生が駆け付けた。

学生の日本企業への熱い就業希望は想像以上。バンドン工科大学は単一大学ではなく、多くの大学の就職課「キャリアセンター」で連携し、今後も「Japan career days」を拡大していく予定だ。

ただ課題もある。大学間連携は 150 大学まで拡大。学生は集まった。しかし、出展してもらえる日本企業が集まらない。「我々の日本での知名度の低さが悩みです。そんなとき声をかけてくれたロンパタン・ジャヤ・インドネシアの渡部さんです」日本企業への就業意欲が強く、日本語を学ぶ優秀な IT 技術者を多く抱えるインドネシア。

大手企業に刈り取られていない優秀なエンジニアの採用にご興味があれば、ぜひ参加を検討してみては。





# 代表だより

一人当たりのGDPが2010年に3000ドル超。人口も2億6000万人を超え、いわゆる人口ボーナスが続いているインドネシア。コーヒー産業などの農業・漁業など一次産業が主産業のこの国は、まだまだ多くの伸びしろを持つ国です。フィンテックによる技術革新を果たし、今後もさらに成長していくことでしょう。

日本との関係もとても深く、インドネシアから見て輸出では第3位、輸入では第2位が日本となっております。経済成長率も毎年順調に5%以上の成長率を維持しており、今後も日本との関係はより緊密により深くなっていくことが見込まれます。

また、1年を通して温暖な気候が影響を与えているのでしょうか。インドネシア人のマジメで、社交的な性格は日本にマッチした人材として注目されています。

インドネシアの若者は来日して就業したいという夢を抱えております。技術を身につけて祖国に錦を飾る。仕送りをして家族の生活を変えたいなど、理由は様々なれど日本へ行きたいという熱い想いは、高いモチベーションとなって皆様の事業の一翼を担うにふさわしい人材になると確信しております。

私もこの外国人材事業をを通じて、インドネシアと日本の橋渡しができることにとてもやりがいを感じております。また訪問した際は世界一美味しいトラジャコーヒーを飲みながらインドネシアと日本の将来を思い描きたいものです。



代表理事 赤石 清美

元 参議院議員

元 政府開発援助等に関する特別委員会 委員長

## イスラム教とは

イスラム教は全世界に16億人の信徒がおり、キリスト教に次いで世界で2番目に多くの信徒を持つ宗教です。インドネシアのムスリム人口は全人口2億6,400万人(世界第4位)の約87%であり、ムスリムが居住する地域はほぼ世界中に広がっていますが、インドネシアは其中でも世界最大のムスリム人口を有する国家です。イスラム教の教典はコーラン唯ひとつ。ムスリム同士が相互に扶助し、生活において品行を保ち、欲望を抑制して、イスラム教の教えにのっとってあるべき社会の秩序を実現させようとしています。



「ヒジャブ」を被ったモデルも登場している

### ヒジャブは既にファッションアイテムの一つ

インドネシアの女性はイスラムの教えにより「ヒジャブ」を身に着ける女性が多いです。正確な統計は見当たりませんが、ジャカルタで生活していると大体70%程度の女性がヒジャブを着こなしています。そう、ファッションアイテムの一つとして。

もともとインドネシアの女性は着るものに寛容な考え方を持っています。イスラムの戒律を守りながら最先端のオシャレを追求しています。

既に、ヒジャブを活かしたファッションデザイナーがインドネシアから世界に羽ばたいており、ミラノ・パリ・ニューヨークのコレクションにも参加しています。

※ヒジャブは髪の毛を見せないようにする為に身に着けるので、例えば、食品工場等では毛髪の異物混入防止の為、フルフードタイプの帽子を被りますので、業務中はヒジャブを身に着ける必要はありません。

## 礼拝 “お祈りの時間”

ムスリムは1日5回の礼拝を行います。(1回約15分程度)  
時間は、日の出・日の入りに影響されるので、実は毎日微妙に違うのですが、例えば現在のジャカルタにおける礼拝時間は以下の通りです。

- ①4:45~5:30(日の出まで)の間
- ②12:00~15:20の間
- ③15:21~17:55(日没まで)の間
- ④17:56~19:08(日没直後)の間
- ⑤19:09~就寝までの間

勤務時間を、9:00~17:00と想定すると、業務中に行うのは、②、③となります。

②はお昼休みに行えば良いですが、③は休憩時間を作る等の各職場での工夫が必要となります。

礼拝には、手・足を洗う必要がありますが、洗面所等にバ

ケツ等があれば大丈夫です。礼拝場所は休憩室等で構いません。※男性の場合、毎週金曜日12:00~13:00にムスクに行く必要があります。シフト制の職場であれば金曜日を休日とする等の配慮が必要となります。



日の出・日の入り時間に左右されます



「Prayer room」の看板

## お祈りの場所の用意はどうすれば？

お祈りの部屋は、個別に用意することが難しい場合、休憩室や会議室を割り当てることで問題ないと言われています。必要な時間に必要

なスペースを提供できるルール作りを考える必要がありますが、こういったご相談にも対応いたします。  
また宗派によりますが、お祈りの時間に若干にズレがあっても問題ないともわれています。細かい対応も実習生と送出し機関から情報を収集し、対応致します。



## 食事

ムスリムが食して良いとされるものをハラルと言います。  
厳格に言えば、ハラル食品のみが食することのできる食品ということになりますが、一般的には、「豚肉」と「アルコール」は食べないと考えれば十分のようです。

ハンバーガー、ソーセージ等がダメ(もちろん、牛肉100%であればOKです。)で、飲み会でのアルコール強制もやめましょう。



「飲まないの?」と勧めることもNG!!

## インドネシアで暮らしてみて

飛行機で7時間超。赤道直下の国インドネシア。

ちょっと遠いですね。しかもイスラム教の国で文化も、食生活も日本とは全く違いちょっと付き合いづらそうな人達というイメージでしょうか。

でも、インドネシアで実際に生活してみるとイメージは一変します。基本的に、「とても優しい」「とてもシャイ」な人達ということはすぐ解ります。

そして、一緒に仕事をする上でこの優しさは、安心感になります。

是非、皆さんにもこの優しさと安心感を感じ取って頂きたいと思います。



インドネシア提携

# 送出し機関紹介

## PT. FUJI BIJAK PRESTASI

日本企業を親会社に持つ信頼篤い人材企業

宮城県仙台市に本社を構える「東洋ワーク株式会社」を親会社に持ち、日本国内事情に精通したスタッフを多く抱えています。

日本スタッフの多さから、送出し後の対応も手厚いフォローが可能。技能実習制度でみられる“ブローカー”を徹底的に排除し、優秀な人材を適正価格でご提供いただけます。

また、PT.FUJI BIJAK PRESTASIはインドネシア国内の人材紹介・派遣事業が主業の為、インドネシア政府との関係が深く、自前の教育施設を持つ。インドネシア国内派遣会社としての実績が長く、教育制度のレベルの高さには定評があります。



授業の様子



真面目に勉強中です

## LPK BANGKIT INDONESIA

2015年5月に設立、約900名の送実績

日本に駐在事務所を持ち、積極的に日本への送り出しを行っている。2015年5月設立ながら、900名を超える人材を日本へ送り出し、日本のクライアントから大きな信頼を勝ち得ています。

インドネシアでは毎月の定期入学テストを行っており、独自の選抜方法にて登録者を厳選。素晴らしい人材の選定に成功しています。

※体力テスト・適正テストを実施 日本入国後の適応力も考慮。

また、日本語教師のレベルが高く、言語教育に定評があります。

日本語教育カリキュラム、レベルチェックテストは全て自前で作成しており、日本人教師、JLPTN1保持者を主体とした素晴らしい教育体制を用意しています。

また、品川区に日本支社を持ち、実習生のフォローを行っています。悩み相談などもインドネシア語で常時可能で、既存顧客からの日本語レベルへの信頼を勝ち得ています。



# LPK ORINES

## 技能実習経験者が代表を務める

代表が技能実習の経験をしており、現実に応じた運営と教育を行っています。特に、日本での生活に関する事前注意は詳細で、LPK ORINESの卒業生は日本での生活環境にスムーズに適応できています。

今まで失踪者を出していないことから、現実に応じた教育が伺えます。また、他の日本語教育機関とのネットワークが広い為、様々なバックグラウンドを持った候補生を募集出来る。



今後、インドネシアと  
その人材の魅力を  
発信していきます！





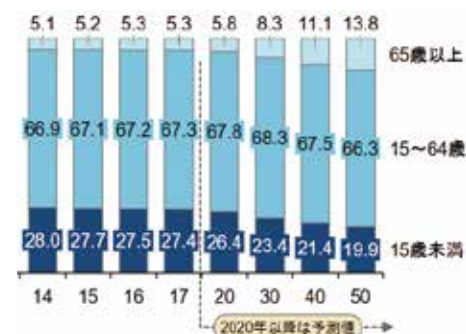
## 「直接見た海外」 インドネシア首都 ジャカルタの“今”



ジャカルタの渋滞は想像以上。市内にはバイクタクシー「ゴジェック」があふれている。



今年ようやく開業に漕ぎつけたジャカルタ地下鉄。エスカレーターでは「左側に立って片側を空ける」など“発展途上国”としての印象はなくなってきた



経産省：インドネシア・年齢別人口構成人口動態および人口成長率より抜粋（出所）世界銀行「World Development Indicators」、国際連合「World Population Prospects」

総人口に占める労働年齢人口の割合は2030年まで上昇し続けると予測されている。若者の割合が高く増加を続ける労働人口に見合った質の高い雇用が必要となる。日本への就業先紹介が一助となるか。

## フィンテック狂騒曲

新興国では電子マネーの普及が著しい。特に島嶼国であるインドネシアでは国策として電子マネーの普及を進めています。「フィンテックは仲買業者を排除できる」とインドネシア大統領のジョコ・ウィドド氏は言います。日本では注目度が低い電子マネーですが、事業構造を大きく変える可能性を秘めているツールなのです。インドネシアではバイクタクシー“GO-JEK”が電子マネーとして『Go-Pay』を運営しており、バイクタクシーの普及と共に、電子マネーの普及が急激に進みました。日本のSuicaと同じように交通系電子マネーから、小売り店舗にも利用できるように拡張され、更に利便性を高めています。



国民生活に完全に根付いた「GO Pay」露店でも気軽に利用できるのが特徴だ

このようなフィンテック狂騒状態を支える技術者への需要は大変高く、インドネシアの各大学のIT関係学部の基礎学力は高い。更なる飛躍を目指してIT技術者を日本へ送り出し、日本で技術を学んだ人材がインドネシアに帰国後、IT産業の基幹人材となる循環を作り出したいと考えています。

### 編集後記

インドネシアの首都ジャカルタの第一印象は渋滞のひどさ。しかし渋滞以外は東京とそれほど変わらないくらい生活し易い都会です。今年地下鉄が開通し、高速鉄道も出来ました。今後益々インフラが整備され、ますます東京に近い都会になるでしょう。しかし、人材教育の遅れは否定出来ません。人口が世界4位の国、世界最大の群島国である難しさがここにあります。トップ人材を育成し、全国民がその人材を目指す構造は、イスラム教90%という特殊な環境から容易に実現できると思います。そんな、国民の目標となるようなビジネスマン、技術者の育成に日本という就業環境を提供し寄与したいと考えています。



編集：渡部

# 高齢社会生活向上協同組合



高齢社会生活向上協同組合

高齢者福祉と民間協力で中小企業を支援する

発行：高齢社会生活向上協同組合  
編集：高齢社会生活向上協同組合 事務局  
電話：(03) 6721-9910  
URL：kumiai-ginou.com